



6/14 金 12:00~17:30

東京会場
メルパルクホール

東京都港区芝公園2-5-20 TEL:03-3459-5501

アクセス JR・モノレール「浜松町駅」より徒歩約10分
都営地下鉄三田線「芝公園駅」A3出口より徒歩約2分
都営地下鉄浅草線「大江戸線」大門駅「A3/A6出口」より徒歩約4分

6/21 金 12:00~17:30

京都会場
シルクホール(京都産業会館8階)

京都府京都市下京区四条通室町東入ル TEL:075-211-8341

アクセス 京都市営地下鉄烏丸線「四条駅」・
阪急京都線「烏丸駅」26番出口より徒歩約3分

国境のない 地球環境

～移動する大気・生物・水・資源～

入場
無料

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

国境のない 地球環境

～移動する大気・生物・水・資源～

こあいさつ

独立行政法人 国立環境研究所 理事長 住明正

人間社会には国境という境界線がありますが、地球環境に国境はありません。風が吹き、水が流れ、鳥が空を渡る、といった自然界の流れに加えて、航空機や船舶の航行などの人間活動によって、ありとあらゆる物質が地球規模で移動しています。こうした物質の移動は、一方で国境を越えた環境問題を引き起こしています。国立環境研究所は、こうした地球規模の環境問題を解決すべく、観測、モデル化、予測・評価など、対策に資する調査研究を進めてきました。

国立環境研究所の公開シンポジウムは、毎年6月の環境月間に東京と京都で開催し、環境研究の最新成果を報告する恒例の公開シンポジウムです。当研究所が実施している調査・研究を通じて得られた経験や知見を広く皆様にご報告する機会として公開シンポジウム2013「国境のない地球環境～移動する大気・生物・水・資源～」を企画いたしました。多数の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

プログラム

12:00~13:00 ポスターセッションI

13:00~13:10 開会挨拶 (独)国立環境研究所理事長 住明正

13:10~13:50 ① 人工衛星GOSAT『いぶき』から見た地球大気中の二酸化炭素とメタンの変動とその要因の推定
地球環境研究センター 横田 達也

13:50~14:30 ② 地球をめぐる大気中物質
～風に乗って大気汚染や気候影響をもたらすもの～
地域環境研究センター 菅田 誠治

14:30~15:10 ③ 世界を渡るアリ ～グローバル化と外来種問題～
生物・生態系環境研究センター 五箇 公一

15:10~15:25 休憩

15:25~16:05 ④ 水でつながる日本と世界 ～私たちの暮らしと世界の水問題～
地球環境研究センター 花崎 直太

16:05~16:45 ⑤ 国際サプライチェーンを通じた環境負荷の発生と資源消費
資源循環・廃棄物研究センター 南齊 規介

16:45~16:50 閉会挨拶 (独)国立環境研究所理事 原澤 英夫

16:50~17:30 ポスターセッションII

ポスターセッション

1. 東日本大震災からの復旧・復興への取り組み
2. 福島における災害廃棄物・放射性物質汚染廃棄物への対応活動
3. 震災復興まちづくりを支援する環境エネルギー技術・政策評価ツール
4. 子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)の進捗状況と国際連携
5. 海を越えてやってくる黄砂や越境大気汚染の健康影響をさぐる
6. 浮遊粒子状物質の培養細胞を用いた毒性評価手法の検討
7. ガソリン車からの粒子状物質の排出 ～燃費改善と大気汚染物質排出のジレンマ?～
8. 上空の二酸化炭素濃度の短周期変動 ～航空機による大気観測プロジェクトCONTRAIL～
9. 太平洋における大気中および海洋中の二酸化炭素濃度の観測
10. 日本海の温暖化影響 ～過去50年で激変した海洋環境～
11. 国際河川メコン河の淡水魚の回遊生態
12. 全国の沿岸域における残留性有機汚染物質(POPs)の長期トレンド ～二枚貝を用いたモニタリング～
13. 遺伝子組換えナタネのモニタリング調査
14. 無機ヒ素による発がんメカニズムを探る
15. アジア地域における有機性廃棄物の家庭用メタン化装置の改善
16. 環境保全と資源循環に寄与するコベネフィット型の廃水処理技術 ～糖蜜系廃水の適切処理～
17. 生物応答を用いた新しい排水管理手法の検討 ～いきものが水を診断する～
18. アジア低炭素社会実現への道しるべ ～低炭素アジアに向けた10の方策～
19. アジア大都市の低炭素戦略の研究 ～マレーシア・イスカンダル開発地域の事例～